

[uca]

由布聡太郎

[uca]

わたしは飛ぶために去る
最果てに逢って散る
不破、ふわりと落っこちる
ふわりと落っこちて散る

先んじたものは空に向かって
空洞になって

濁った泥風船が落っこちた
虚んな生活、逃がさないための結び目、破裂した皮膚

ある日、落っこちた

[uca]べずに、とすん

そのまま浮かんで、落っこちた

[uca]バレた、落っこちた

優柔不断な知的言説の果ての果て
蟻地獄みたいな世界だね

望むやつらが覗くだけ蠢く

逆円錐の世界で

汚れた体液を啜って、薄めて、落っこちて
[uca]、慣れるかな、わたし、なれるかな

宵が明けるよ、白んでいるよ

昨日は雨だったのでこのままでいました
一昨日は気乗りしませんでした
その前も、その前の前も

「uca」、臆病ですか

結末は滑り落ちるだけでしょう
コウモリがわたしを噛みながら過ぎた
望むなら快楽に満たされた破裂を
そうでないなら溶けたままの永遠を

カゲロウ、わたしはどろどろの泥風船
溶けだしたわたしだったわたし
泥を薄めて膨れて膨れて
いまに破裂する

カゲロウ、上手に飛べていませんね
まだふやけた羽のまま
落っこちていますね
あなただったあなたを置いて

「uca」、あなたは飛び去る

ある日、幼子は思いだした
シャボン玉を飛ばした
われた
たくさん飛ばした
落っこちた

「uca」ばれるように
もう変わらないように
羽化、あなたは最果てにいったのね
「uca」バレた、浮かばれなかった

それでよかった

わたし、なれるかな

どろどろの「わたし」のままで

わたしは飛ぶために去る

逆円錐から抜けて最果てに逢う

[uca]

ここにいるね、ここにいてね